

平成27年度第5回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成27年9月7日（月）10時00分～11時00分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	古賀 実
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	半藤 英明
文学研究科長	鈴木 元
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学名誉教授	渡辺 満利子
熊本県立高等学校長会会長	宮崎 功
ワグナー：環境共生学研究科長	福島 英生

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、福島地域連携・研究推進センター事務長、坂本学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課福永班長、山田企画調整室参事

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成27年度秋季入学入学者選抜（大学院環境共生学研究科博士後期課程）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「大学院環境共生学研究科博士後期課程の秋季入学については、試験を8月29日、土曜日に実施した。募集人員若干名に対して、2名が志願し、2名が受験した。」との説明があり、続いて、福島環境共生学研究科長から、資料1-2に基づき、「総得点が概ね6割を超え、かつ3割未満の科目がないことを合格基準としており、受験した2名は基準を満たしていることから合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成28年度春季入学入学者選抜（大学院環境共生学研究科博士前期課程（秋季募集））における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「大学院環境共生学研究科博士前期課程（秋季募集）の春季入学については、試験を8月29日、土曜日を実施した。募集人員20名に対して、一般選抜に11名、社会人特別選抜に2名、外国人留学生特別選抜に1名が志願し、志願者全員が受験した。」との説明があり、続いて、福島環境共生学研究科長から、資料2-2に基づき、「総得点が概ね6割を超え、かつ3割未満の科目がないことを合格基準としており、一般選抜については、受験した11名のうち基準を満たしている上位8名を、社会人特別選抜については、受験した2名全員を、外国人留学生特別選抜については、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 学長の選考に係る学長候補者の推薦について

事務局企画調整室から、資料3-1により、前回の審議に基づき、8月20日から28日までを調査期間として学内意向調査を実施したことの説明に加え、学長選考会議から教育研究会議に対して学長候補者の推薦要請の内容（2名以内を9月16日までに推薦）及び学長選考のスケジュール等を確認する説明があった。

学内意向調査の結果については、津曲副学長（総合管理学部教授）、半藤学術情報メディアセンター長（文学部教授）及び三浦総合管理学部教授の3名が教育研究会議における学長候補者選定の審議対象となった旨説明があり、審議を行うため、本会議の委員である津曲副学長及び半藤センター長の両名が退出した。

当該3名以外に審議対象とすべき者はいないことを確認後、古賀学長から、資料3-2に基づき、審議対象者3名についての学位や経歴、専門分野、研究課題・研究業績、学会での活動状況、地域貢献等について説明があった。

審議の結果、津曲副学長及び半藤センター長の2名を教育研究会議として、学長候補者に推薦することを決定した。

なお、会議終了後に古賀学長から両名に依頼し同意を得ること、本会議における意見を踏まえ古賀学長一任で推薦理由書を作成することとなった。

4 その他

次回日程 平成27年度第6回 9月28日（月）午前11時～本部棟2階大会議室

5 閉会